

復興 道半ば

1万人余が仮設暮らし

気仙沼市 東日本大震災から4年

東日本大震災の発生からきょう11日で4年。大津波によって甚大な被害に見舞われた気仙沼市、南三陸町は復興へ向けて着実に前進を続けている。住宅再建や産業再生などで明るい兆しが見え始めてきたが、課題はまだ山積みだ。今なお約1万4千人が仮設住宅などで暮らす。大地震が発生した午後2時46分、住民たちはあの日思い起こし、震災5年目へと歩みを進める。2ページに特集

きょう追悼式

10日現在、気仙沼市でおり、ピーク時よりの死者数は1042人で、うち身元不明が2人。行方不明者は225人おり、毎月、気仙沼署を中心に沿岸部で捜索活動が行われている。仮設住宅は市内と一関市合わせて90団地2763戸。2587世帯5986人が暮らし、14団地160区画が順次引き渡される。災害公営住宅も完成したのは南郷地区の2、3号棟75戸のみ。今月末に同地区1号棟や長磯浜の木造一戸建ての一部完成を控えるほか、27年度末までに全体の半数以上となる1113戸まで達する予定だ。鹿折、南気仙沼、内湾各地区的土地区画整理事業は、盛り土工事な

82世帯4230人が暮らす。みなし仮設は県内361世帯、県外58世帯の計約1200人。28団地に865戸を計画している防集は、これまで17団地202区画(23%)が完成。今月末までに20団地240区画まで進む。災害公営は全8地区738戸のうち、これまで3地区104戸(14%)が完成した。追悼式は、気仙沼市が午後2時40分から市総合体育館「ケー・ウエーブ」で、南三陸町が同2時30分から町総合体育館「ベイサイドアリーナ」でそれぞれ行われる。政府主催の追悼式を中継で放映し、地震発生時刻の同2時46分に合わせて黙とうする。

復旧のめどが立っていないJR気仙沼線について、南三陸町の佐藤仁町長は10日、「そう遠くない時期に方向性を決めなければならぬ」と述べ、鉄路での復旧が現実的に厳しい状況との認識を明らかにした。同日開かれた町議会3月定例会で、施政方針に対する総括質疑で議員の質問に答えた。佐藤町長は、議論が一

向に進んでいないJR気仙沼線の鉄路復旧について、「かさ上げが進む中、今後のまちづくりにも影響が出かねない」と強調。その上で、町民を対象に実施したアンケートでは、鉄路復旧後に「利用する」と答えた人が少なかったことを挙げ、「復活しても赤字路線であり、現実を考えるとどうだろう」という認識を持つという。『あった方が良かった、乗りません』では『難しい』など述べ、沿線自治体と今後の対応について協議していく考えを示した。

本社来訪

橋おさむ氏(川柳)

副市長に菅沼氏

気仙沼市 復興加速へ再び国交省から



菅沼真澄氏

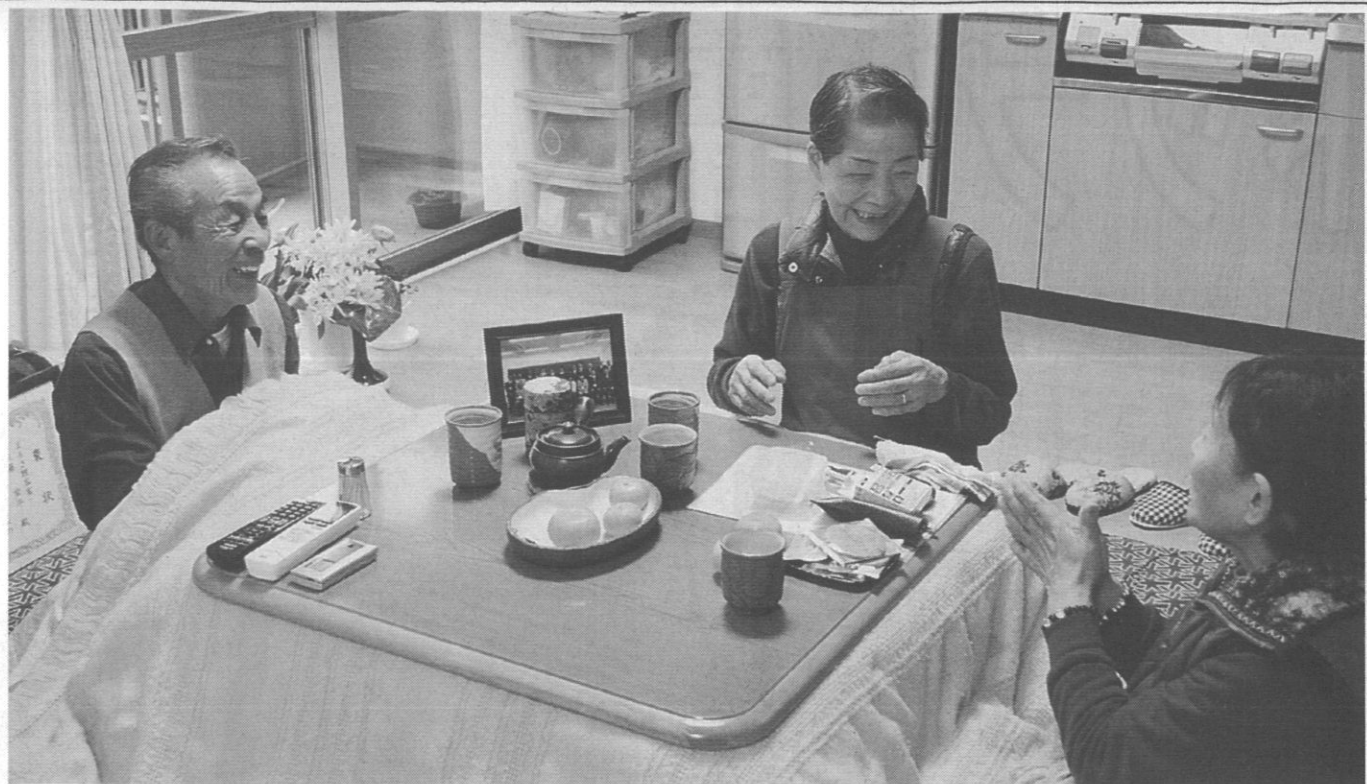
気仙沼市議会定例会は10日、本会議を再開。3月末で退任する出身の菅沼真澄氏(38)の選任に同意した。就任は4月1日予定。菅沼氏は、京都大学大学院工学研究科修了後、平成15年に国土交

6700人減少

気仙沼市人口

気仙沼市の2月末の人口は、6万7561人(男3万2816人、女3万4745人)で、震災直前の23年2月末から6886人減少した。地区別では、震災被害の少なかった新月が902人の増加。このほか増加したのは、面瀬(142人)だけと

このほか、赤岩港水産加工団地や漁港の災害復旧関連の18議案を追加提案。議案審議を行い、常任委員会に付託した。



入居者同士で談笑する佐藤さん夫妻

新生活スタート

南郷災害公営住宅

気仙沼市で最も早い入居となった南郷地区災害公営住宅。仮設住宅などから引っ越した入居者たちは、新たな生活をスタートさせている。佐藤常平さん(75)もその一人。災害公営で妻の淑枝さん(74)との2人暮らしが始まって1カ月が過ぎた。2人は「仮設より広くていい」と声をそろえるが、「新居での生活は始まったばかりで、まだ心にゆとりがない」と話す。「余裕が出てくれば、そのうち川に釣りにでも」と佐藤さん。淑枝さんは「今まではいろんな人に生かされてきた。これからは自分のできることをしていきたい」と笑顔を見せた。

Table with 3 columns: 地区 (Area), 人口 (Population), 世帯 (Households). Rows include 気仙沼, 鹿折, 松岩, 新月, 階上, 大島, 面瀬, 中井, 唐桑, 小原木, 小泉, 津谷, 大谷, 合計 (Total).

※()内は23年2月末比

ホタテとムラサキイガイが出荷規制 県北部海域からまひ性貝毒検出 県は10日までに、気仙沼湾の養殖ホタテガイと、県北部海域のムラサキイガイから国の基準値を上回るまひ性貝毒が検出されたと発

表した。検体はともに9日に気仙沼湾で採取したものを、仙台市内で検査した。国の基準値は1μg当たり4MU(マウスユニット)。ホタテガイからは7.3MU、ムラサキイガイからは6.5MUがそれぞれ検出された。